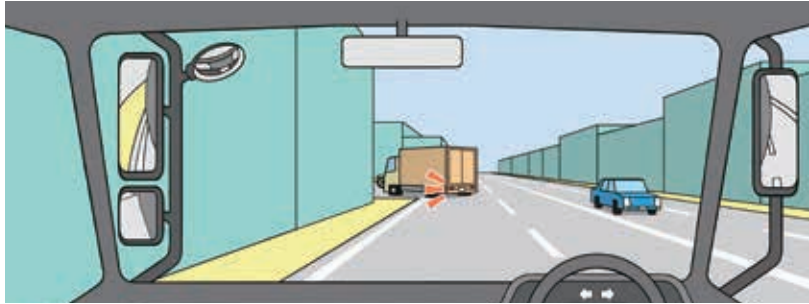




前車が作りだす死角

事故を未然に防ぐには、運転中に遭遇するさまざまな交通状況において、危険を予知し的確に回避することが必要です。予測される危険や、それを避けるための運転について考えてください。



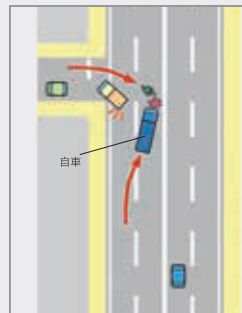
交通状況

- 片側2車線道路の走行車線を直進しています。
- あなたは配送のため少々急いでいます。
- 前車(トラック)は路地へ入るため、左折の合図を出して停止しています。
- 追い越し車線には、前後ともに車は走っていません。

Q どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

このような危険が！

- A**
- 前車が左折するために停止しているのは、その先に何かがあるためだと予測する必要があります。
 - 前車をやり過ごすため、追い越し車線には車がないからと急に車線変更をした場合、路地から二輪車が自車の前に右折してくると衝突する危険があります。
 - 前車はこの二輪車と交錯したり、前車の先に車が停止したりしている恐れがあるので、停止していたのかもしれない。二輪車はトラックの死角に入りやすく、また機動性が高いので動きにも注意が必要です。



このような運転を！

- A**
- 交差点付近で前車が停止しているからといって、急に車線変更をすると交差点から車や二輪車が出てくる恐れがあるのでやめましょう。
 - 特に前車による死角には注意し、二輪車や自転車、歩行者がいらないか安全確認を十分に行って進行しましょう。

協力：(公財)交通事故総合分析センター



第107回 私のスケッチブック

「酒屋さんのショーウィンドー」

ニュルンベルク (ドイツ)



下戸な男の独り言…。私は全くお酒が飲みません。最近になってノンアルコールビールを少し飲めるようになりましたが、アルコール類に縁のない人間です。

欧州に行くとき葡萄酒を目にしますから、時々ワイナリーを訪れる事もあります。何故ニュルンベルクで酒屋さんを描いたのか？実は「フランケン・ワイン」に興味があって、中心都市であるヴェルツブルクで酒屋を探したのですが、良いお店に出会えなかったのです。

ドイツのワインは殆どがリースリング系で白ワインの生産が中心。しかし、フランケン地方は葡萄栽培の北限に近く寒暖差の激しい地域ですから、メイン川流域の斜面を最大限利用して栽培されたミュラー・トゥルガウやシルヴァーナがメインの品種で、リースリングが極めて少ない地域です。味わたる事はないのですが、極めて男性的な辛口のワインだそうです。

そして作品の右手に描かれているのが、独特の横扁平型の瓶で「ボックス・ボイテル」と呼ばれています。この瓶の由来は、ヴェルツブルクを代表するヴェルガーシュピタルが発祥と云われて、欧州でもこのスタイルの瓶はポルトガルにありますが、何とも気になるフォルムに絵心をそそられます。

白ワインと云えば…ブルゴーニュの「シャルドネ100%」のシャブリ。ボルドーのガロンヌ川左岸に位置し「ソーヴィニヨン」で有名なソーテルヌ。そして、ドイツの「リースリング」も銘酒が沢山あるそうですが、フランスに比べて些か不人気。ドイツワインで超有名なのはトロッケンペーレンアウスレーゼと云われる、極上の甘さの貴腐ワインでエレガントな味わいだそうです。私も土産物屋さんの試飲で黄金に輝く一滴をテイasting…、やはり食後のデザート？フランスの銘酒ロマネコンティよりも高値の付いたビンテージもあるとか？？

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。
「第70回 全国カレンダー展」に11度目の入選を果たし、その実力を発揮する。
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原